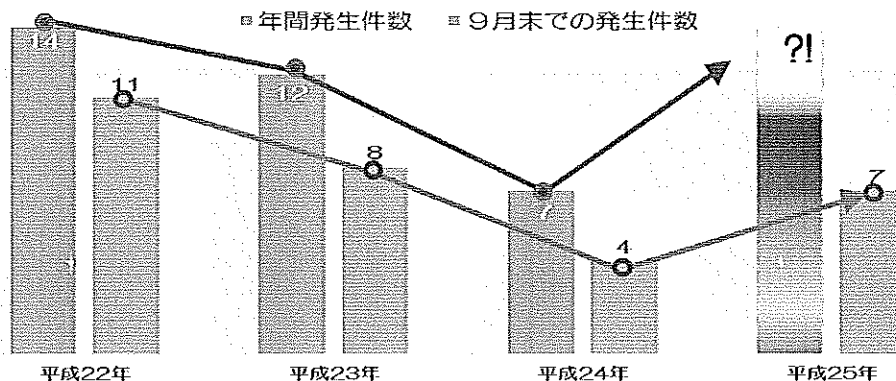


死亡災害が多発しています！

山梨県下では、ここ3年連続して死亡労働災害が減少している中（平成22年14人⇒平成23年12人⇒平成24年7人）、本年は9月16日に発生した死亡災害で7人となり、昨年同時期と比較して4人増加し、昨年1年間と同数になるなど非常に憂慮すべき事態となっています。

これら死亡災害の発生に歯止めを掛けるため、経営トップ自らが、以下の着目点を中心に、職場に潜む、不安全な行動、不安全な設備等の危険要因の徹底排除を目的に緊急安全点検を実施してください。

山梨県内の死亡労働災害の推移



平成25年 事故の型別死亡災害発生状況（9月16日現在7人）

墜落・転落（1人）	激突され（2人）
◎被災者は、法面測量作業のため、測量に使用するミラーポールを持って山中に入った。測点付近（道路面から高さ約27m、勾配50～54度）において、道路上の作業員から、立ち位置について無線指示を受けていたところ、足元が崩れてバランスを崩し、近くの木を掴んだが木が折れ転落した。	◎被災者は、施工場所の支障木を伐倒作業中、立木を谷側に倒すため、谷側方向に受け口を作ろうとしたが、途中でチェーンソーが木に挟まれて動かなくなってしまったため、別のチェーンソーで山側から追い口を入れたところ、追い口を入れた箇所から幹が縦に裂けて被災者に激突した。
はさまれ・巻き込まれ（1人）	◎建設廃材を、コンクリート圧砕機を取り付けた重機を用いて4tトラック荷台の廃材コンテナに積載する作業中、圧砕機を固定している2本の金属棒のうち1本が外れ、圧砕機が振り子状に振れ、被災者の頭部に激突し、コンテナから高さ約1.2m下のコンクリート面に墜落した。
転倒（1人）	交通事故（2人）
◎降雪のため工事現場に向かう林道が不通となったことから、同僚がトラクター・ショベルで雪かきを行っていたところ、被災者は雪かきを行っていた作業現場から少し離れた乗用車に歩いて戻る途中、アイスバーンとなっていた下り坂の道路で転倒し頭部を負傷した。	◎被災者は、エンジン故障のため路肩に停車していたトラックの前方にて、窓越しに故障車の運転手と話をしていたところ、後方から走ってきた別のトラックが故障車に追突した。この衝撃で、故障車は前方に押し出され、被災者を跳ねて、前方に停車していた被災者の車に追突して止まった。
	◎台風の影響により通行止めとなった県道において、通行止めゲートに気づかず乗用車が激突した。その反動で通行止めゲートが押し出され、走行車両の監視を行っていた被災者の胸に激突した。

◎死亡労働災害の撲滅に向けて、下記事項の徹底・取組を！

- 1 作業マニュアルに従って作業をしているか
- 2 作業マニュアルの見直しをしなくて大丈夫か
- 3 保護具を正しく使用しているか
- 4 免許、修了証等を有しているか
- 5 機械設備等の点検を実施しているか
- 6 安全衛生教育を実施しているか

平成 25 年 死亡労働災害の概要（9月末現在7人）

番号	発生月日	年齢	業 種	事故の型	災 害 の 概 要
	発生地	性別	職 種	起 因 物	
①	1. 15	56	建設業 (道路 建設工 事業)	転倒 通路	降雪のため工事現場に向かう林道が不通となったことから、同僚がトラクター・ショベルで雪かきを行っていたところ、被災者は雪かきを行っていた作業現場から少し離れた乗用車に歩いて戻る途中、アイスバーンとなっていた下り坂の道路で転倒し頭部を負傷した。 
2	2. 4	61	自動車 修理業	はさま れ、巻き 込まれ	被災者は機体重量約2トンのフォークリフトの修理のため、フォークリフトを油圧ジャッキ（能力4トン）で持ち上げて、フォークリフト下に仰向けで、頭部を入れて、工具で修理を行っていたところ、ジャッキが外れて、フォークリフトとコンクリート床面の間に頭部が挟まれ死亡した（出張中のリフト災害）。 
③	4. 4	57	建設業 (砂防 工事)	激突され 立木等	被災者は、施工場所の支障木を伐倒作業中、立木を谷側に倒すため、谷側方向に受け口を作ろうとしたが、途中でチェーンソーが木に挟まれて動かなくなってしまったため、別のチェーンソーで山側から追い口を入れたところ、追い口を入れた箇所から幹が縦に裂けて被災者に激突した。 
④	5. 2	51	その他 の事業 (測 量)	墜落・転 落 地山	被災者は、法面測量作業のため、測量に使用するミラーポールを持って山中に入った。測点付近（道路面から高さ約27m、勾配50～54度）において、道路上の作業員から、立ち位置について無線指示を受けていたところ、足元が崩れてバランスを崩し、近くの木を掴んだが木が折れ転落した。 
5	5. 8	50	建設業 (解体 工事 業)	激突され その他の 建設機械 等	建設廃材を、コンクリート圧砕機を取り付けた重機を用いて4tトラック荷台の廃材コンテナに積載する作業中、圧砕機の機を固定している2本の金属棒のうち1本が外れ、圧砕機が振り子状に振れ、被災者の頭部に激突し、コンテナから高さ約1.2m下のコンクリート面に墜落した。 
6	5. 24	37	建設業 (土 木)	交通事故 トラック	被災者は、エンジン故障のため路肩に停車していたトラックの前方にて、窓越しに故障車の運転手と話をしていたところ、後方から走ってきた別のトラックが故障車に追突した。この衝撃で、故障車は前方に押し出され、被災者を跳ねて、前方に停車していた被災者の車に追突して止まった。 
7	9. 16	63	その他 の事業 (警備 業)	交通事故 乗用車	台風の影響により通行止めとなった県道において、通行止めゲートに気づかず乗用車が激突した。その反動で通行止めゲートが押し出され、走行車両の監視を行っていた被災者の胸に激突した。 